


Acrobat Reader/File Utility/YAMAHA USB MIDI Driver インストールガイド



ご注意

- ・このソフトウェアおよびインストールガイドの著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- ・巻末にこのソフトウェアのソフトウェア使用許諾契約が記載されています。ソフトウェアをインストールする前に、必ずこのライセンス契約をお読みください。CD-ROMを開封すると、この契約に同意したことになります。
- ・このソフトウェアおよびインストールガイドの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・このソフトウェアおよびインストールガイドを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・市販の音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- ・OMS™および  は、Opcode Systems, Inc.の商標です。
- ・Adobe、Adobeのロゴ、AcrobatおよびAcrobatのロゴは、Adobe Systems Incorporatedの商標です。
- ・その他、このインストールガイドに掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
- ・USB MIDIドライバーなどのアプリケーションソフトウェアは、改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。最新のアプリケーションソフトウェアは、下記URLからダウンロードできます。
<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/dl/>
- ・アプリケーションのバージョンアップなどに伴うシステムソフトウェアおよび一部の機能や仕様の変更については、別紙または別冊で対応させていただきます。

Open Plug-In Technologyについて

File Utilityは単独のアプリケーションソフトウェアですが、WindowsについてはOpen Plug-in Technology (オープンプラグインテクノロジー)対応のソフトウェアのプラグインソフトとして使うこともできます。

File UtilityをOpen Plug-in Technology(オープンプラグインテクノロジー)対応のプラグインソフトとして使う場合、起動方法はホストアプリケーション(シーケンスソフトなど)の取扱説明書をご参照ください。

Open Plug-in Technology (以下OPT) は、シーケンサーなどの音楽用ソフトウェアからMIDI機器をコントロールするための新しいソフトウェアプラグインフォーマットです。たとえば、シンセサイザー、プラグインボードの音色エディターや、ミキサーをコントロールするエディターなどを、別々に起動させるのではなく、OPTに対応したアプリケーションの中で動作させることができます。アプリケーションごとにMIDIドライバーの設定などをする必要がなくなり、音楽制作をより快適でシームレスに行なう環境を実現します。

ホストアプリケーションのOPT対応レベル

OPT対応のホストアプリケーションは、以下の3つのレベルに分けられます。



レベル1 (PANELS) のホストアプリケーションでは、プラグインソフトウェアの基本的な機能をサポートしており、代表的な例としては、コンピューター上でプラグインソフト (エディターなど) のパネルを使って音色エディットができます。






レベル2 (PROCESSORS) のホストアプリケーションでは、プラグインソフトウェアからMIDIデータを受信するなど、レベル1より更进一步進んだエディットができます。プラグインソフトウェアの多くの機能をサポートしていますが、一部対応していない機能 (イベント挿入など) があります。



レベル3 (VIEWS) のホストアプリケーションでは、プラグインソフトウェアが持っているすべての機能が動作します。ヤマハのシーケンスソフトSOLやSQ01はOPTレベル3 (VIEWS) に対応しています。

File Utility動作表

ホストアプリケーション対応レベル	File Utilityの動作	
	動作可否	機能制限
IEWS(レベル3) 	動作する	なし
PROCESSORS(レベル2) 	動作する	なし
PANELS(レベル1) 	動作しない	—



- ・ホストアプリケーション側に対応する機能がない場合は、期待どおりに動作しない場合があります。対応レベルは、OPTのロゴで確認できます (ホストアプリケーションのバージョン情報などに表示されます)。

ソフトウェアのインストール

メモ

- ・下記にインストール方法が紹介されていないソフトウェアについては、それぞれのソフトウェアのオンラインマニュアルをご参照ください。

アンインストール(アプリケーションの削除)

次の方法でインストールしたソフトウェアを削除することができます。

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[アプリケーションの追加と削除]→[インストールと削除]で、削除したい項目を選択し、[追加と削除]をクリックします。ダイアログが表示されますので、画面の指示に従って削除を実行してください。

メモ

- ・ご使用のOSによりメニュー名やボタン名などが異なる場合があります。

■ Acrobat Readerのインストール

各アプリケーションに付属のPDFマニュアルをコンピューター上で見るために、あらかじめこのソフトウェアをインストールする必要があります。

メモ

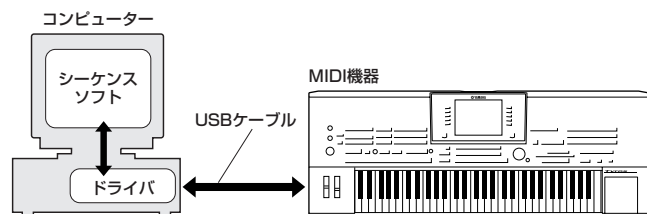
- ・CD-ROMに搭載されているバージョン以前のAcrobat Readerがすでにコンピューターにインストールされている場合は、このバージョンをインストールする前に、前のバージョンのものをアンインストールしてください。

- 1 「Acroread_」フォルダーをダブルクリックします。
- 2 「ar*.*.jpn.exe」をダブルクリックします。
Acrobat Readerのセットアップダイアログが表示されます。
- 3 画面の指示に従ってインストールを実行します。

インストール後、コンピューター上(デフォルトではProgram Files)にAcrobatのフォルダーが追加されます。操作については[ヘルプ]メニューの「Readerオンラインガイド」をご参照ください。

■ USB MIDI ドライバーのインストール

MIDI機器をコンピューターにて実際に使用するためには、コンピューターにドライバーを正しくインストールする必要があります。USB・MIDIドライバーは、シーケンスソフトなどからUSBケーブルを通じて、MIDI機器にMIDI信号を送信したり、逆にMIDI機器からシーケンスソフトなどにMIDI信号を送信したりするためのソフトウェアです。



- ・Windows 98/Meをお使いの場合 →下記参照
- ・Windows2000をお使いの場合 →3ページ
- ・WindowsXPをお使いの場合 →4ページ

メモ

- ・USB MIDIドライバーをインストールする前に、下記の状態にしておく
と安全です。
 - ・アプリケーションや使っていないウィンドウは、すべて閉じる。
 - ・ドライバーをインストールするケーブル以外でMIDI機器に接続されているケーブルを、すべて外しておく。

お使いのCD-ROMドライブのドライブ名(D:、E:、Q:など)をあらかじめご確認ください。ドライブ名は「マイコンピュータ」の中のCD-ROMアイコンの下に表示されています。(CD-ROMドライブのルートディレクトリはそれぞれD:¥、E:¥、Q:¥、などになります。)

Windows98/Meへのインストール

- 1 コンピューターを起動します。
- 2 CD-ROMドライブに付属のCD-ROMを挿入します。
- 3 MIDI機器の電源がオフになっていることを確認した上で、コンピューターのUSB端子とMIDI機器のUSB端子を、USBケーブルを使って接続します。続いてMIDI機器の電源を入れると、コンピューター画面に「新しいハードウェアの追加ウィザード」が自動的に表示されます。

Windows Meをお使いの場合は、「適切なドライバを自動的に検索する(推奨)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて[次へ]をクリックします。ドライバーの検索とインストールが自動的に始まりますので、手順8へお進みください。ドライバーが検出されない場合は、「ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)」を選択し、CD-ROMドライブの「USBdrv_」フォルダーを指定してインストールしてください。

Windows 98



Windows Me



- 4** [次へ]をクリックします。
検索方法を選択する画面が表示されます。



- 5** 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[次へ]をクリックします。
ドライバーのインストール元を選択する画面が表示されます。

- 6** 「検索場所の指定」の左側にチェックを入れて[参照]をクリックしたあと、読み込み先としてCD-ROMドライブの「USBdrv_」ディレクトリ(D:\¥USBdrv_¥など)を直接指定します。

メモ

- ・ドライバーの検出中にWindowsのCD-ROMを要求してくる場合がありますが、読み込み先としてCD-ROMドライブの「USBdrv_」ディレクトリ(D:\¥USBdrv_¥など)を指定してインストールを続行してください。

- 7** CD-ROMの中のドライバーを検出し、インストールの準備が終わると、次の画面が表示されます。
「YAMAHA USB MIDI Driver」が表示されていることを確認後、[次へ]をクリックします。インストールが始まります。



メモ

- ・「ドライバのある場所」はモデルや環境によって異なることがあります。

- 8** インストールが終わると、次の画面が表示されます。
[完了]をクリックします。

メモ

- ・コンピューターによっては、インストール終了後この画面が表示されるまでに10秒近くかかる場合があります。

Windows 98



Windows Me



これで、ドライバーのインストールは完了しました。

Windows 2000へのインストール

- 1 コンピューターを起動して、administrator権限のあるアカウントでWindows2000にログインします。
- 2 [マイコンピュータ]→[コントロールパネル]→[システム]→[ハードウェア]→[ドライバの署名]→[ファイルの署名の確認]で「無視 - ファイルの署名に関係なく、すべてのファイルをインストールする」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[OK]をクリックします。
- 3 CD-ROMドライブに付属のCD-ROMを挿入します。
- 4 MIDI機器の電源がオフになっていることを確認した上で、コンピューターのUSB端子とMIDI機器のUSB端子を、USBケーブルを使って接続します。続いてMIDI機器の電源を入れると、コンピューター画面に「新しいハードウェアの検索ウィザード」が自動的に表示されます。
[次へ]をクリックします。
- 5 「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[次へ]をクリックします。
ドライバーのインストール元を選択する画面が表示されます。
- 6 「CD-ROM ドライブ」にチェックを入れ、それ以外の項目はすべてチェックを外します。
[次へ]をクリックします。

メモ

- ・ドライバーの検出中にWindowsのCD-ROMを要求してくる場合がありますが、読み込み先としてCD-ROMドライブの「USBdrv2k_」ディレクトリ(D:\¥USBdrv2k_¥など)を指定してインストールを続行してください。

- 7** インストールが終わると、「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示されます。
[完了]をクリックします。

メモ

- ・コンピュータによっては、インストール終了後この画面が表示されるまでに10秒近くかかる場合があります。

- 8** コンピューターを再起動します。
これで、ドライバーのインストールは完了しました。

Windows XPへのインストール

- 1** コンピューターを起動します。
- 2** [スタート]→[コントロールパネル]をクリックします。
コントロールパネルが下のような表示のときは、画面左上の「クラシック表示に切り替える」をクリックします。すべてのコントロールパネルとアイコンが表示されます。



- 3** [システム]→[ハードウェア]→[ドライバの署名]→[ドライバ署名オプション]で「無視—ソフトウェアをインストールし、確認を求めない(I)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[OK]をクリックします。
- 4** [OK]をクリックしてシステムのプロパティを閉じてから、画面右上の「X」をクリックしてコントロールパネルを閉じます。
- 5** CD-ROMドライブに、付属のCD-ROMを挿入します。
- 6** MIDI機器の電源がオフになっていることを確認した上で、コンピューターのUSB端子とMIDI機器のUSB端子を、USBケーブルを使って接続します。続いてMIDI機器の電源を入れると、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が自動的に表示されます。
- 7** 「ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)(I)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[次へ]をクリックします。
インストールが始まります。

- 8** インストールが終わると、「新しいハードウェアの検出ウィザードの完了」と表示されます。
[完了]をクリックします。

メモ

- ・コンピュータによっては、インストール終了後この画面が表示されるまでに10秒近くかかる場合があります。

- 9** コンピューターを再起動します。
これで、ドライバーのインストールは完了しました。

■ File Utilityのインストール

MIDI機器とコンピューターを接続して、ファイル管理などを行うためのソフトウェアです。以下の手順で、2つのソフトウェアをインストールすることができます。

- 1** CD-ROM内の「FileUtil_」フォルダーをダブルクリックします。
「setup.exe」などのファイルが表示されます。
- 2** 「setup.exe」をダブルクリックします。
各セットアップダイアログが表示されます。
- 3** 画面の指示に従ってインストールを実行します。

操作についてはオンラインヘルプ/PDFマニュアルをご参照ください。

MIDIポートの設定(単独で起動する場合)

File UtilityでMIDIポートを選択する前にMIDI SetupツールバーでMIDIポートを設定する必要があります。

メモ

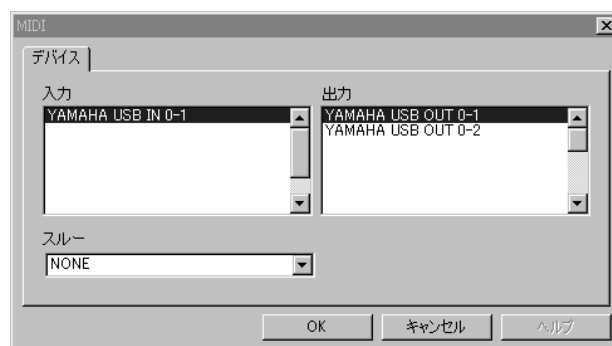
- ・ File Utilityを、Open Plug-in Technology(オープンプラグインテクノロジー)対応アプリケーションソフトのプラグインとして使う場合には、それぞれのオンラインマニュアルをご参照ください。

- 1** File Utilityを起動してください。
- 2** 以下のようなMIDI Setup ツールバーが表示されますので、MIDI Setupボタンを押してください。



MIDI Setup ボタン

- 3** MIDI Setupボタンを押すと以下のようなMIDI Setup ダイアログが表示されますので、MIDI機器が接続されているMIDI In/Out/Thruの各ポートを設定してください。



メモ

- ・ File UtilityにおいてMIDIポートを有効にするには、File Utilityの設定ダイアログでMIDIポートを選択する必要があります(上記のMIDI Setupダイアログで設定されたMIDIポートの中からどれを使用するかを選択になります)。設定方法の詳細はFile Utilityのオンラインヘルプ/PDFマニュアルをご参照ください。

ソフトウェアのインストール

■ Acrobat Readerのインストール

各アプリケーションに付属のPDFマニュアルをコンピューター上で見るために、あらかじめこのソフトウェアをインストールする必要があります。コンピューターにすでにAcrobat Readerがインストールされている場合は再インストールする必要はありません。

- 1 「Acroread_」フォルダーをダブルクリックします。「Japanese Reader Installer」(インストーラー)が表示されます。
- 2 「Japanese Reader Installer」をダブルクリックします。Acrobat Readerのセットアップダイアログが表示されます。
- 3 画面の指示に従ってインストールを実行します。インストールが完了したら、コンピューター上(デフォルトではハードディスク上)に「Adobe Acrobat」フォルダーが追加されます。操作についてはヘルプメニューの「アクロバットのヘルプ」をご参照ください。

■ Open Music System(OMS)のインストール

Mac OS上で複数の音楽アプリケーション(MIDIデータ)を使用できるようにします。コンピューターにすでにOMSがインストールされている場合は再インストールする必要はありません。

- 1 「OMS_」フォルダーをダブルクリックします。「Install OMS *****」(インストーラー)が表示されます。
- 2 「Install OMS *****」をダブルクリックします。OMSのセットアップダイアログが表示されます。
- 3 画面の指示に従ってインストールを実行します。インストールが完了したら、コンピューターの再起動を選択します。



・インストール終了時に、以下の内容のメッセージが表示されることがあります。

「アプリケーションを終了することができませんでした。」

このようなメッセージが表示された場合は、ファイルメニューから[終了]を選択してインストーラーを終了し、コンピューターを再起動してください。

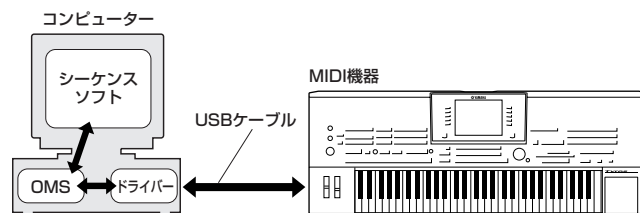
再起動後、コンピューター上(デフォルトではハードディスク上)に「Opcode」/「OMS アプリケーション」フォルダーが追加されます。

- 4 CD-ROM内の「OMS ****_Manual.pdf」をドラッグ&ドロップで、「OMSアプリケーション」フォルダーにコピーします。操作についてはこの「OMS ****_Manual.pdf」をご参照ください。
- 5 CD-ROMの「OMS Setup for YAMAHA」フォルダーを「OMSアプリケーション」フォルダーにドラッグ&ドロップでコピーします。この「OMS Setup for YAMAHA」フォルダーには、MIDI機器用のOMSセットアップファイルが入っています。お持ちの音源のセットアップファイルをテンプレートとしてご使用ください。

■ USB-MIDIドライバーのインストール

MIDI機器をコンピューターにて実際に使用するためには、コンピューターにドライバーを正しくインストールする必要があります。

USB-MIDIドライバーは、シーケンスソフトなどからUSBケーブルを通じて、MIDI機器にMIDI信号を送信したり、逆にMIDI機器からシーケンスソフトなどにMIDI信号を送信したりするためのソフトウェアです。



USB-MIDIドライバーをインストールする前に、OMSがインストールされている必要があります。また、ドライバーインストール後に、OMSのセットアップ(6ページ)が必要になります。

- 1 コンピューターを起動します。
- 2 CD-ROMドライブに付属のCD-ROMを挿入します。デスクトップにCD-ROMのアイコンが表示されます。
- 3 CD-ROMのアイコンをダブルクリックして開き、「USBdrv_」フォルダーの「Install USB Driver」のアイコンをダブルクリックします。インストール画面が起動します。



- 4 「Install Location」(インストール場所)というボックスに、インストール先が表示されます。インストールするディスクやフォルダーを変えたい場合は、[Switch Disk](ディスク切り替え)やプルダウンメニューを使い、インストール先を選択してください。



・通常は起動ディスクが自動的に表示されるので、インストール先を変更する必要はありません。

- 5 [Install](インストール)をクリックすると、「ソフトウェアインストール後、コンピューターを再起動する必要があります。[Continue]をクリックすると、すべてのアプリケーションが自動的に終了します。」という英語のメッセージが表示されます。[Continue]をクリックしてください。



・インストールを中止したい場合は、[Cancel]をクリックしてください。

- 6** インストールが開始されます。ドライバーがすでにインストールされている場合、以下のようなメッセージが表示されます。手順3にもどる場合は[Continue]を、インストールを終了する場合は[Quit](終了)をクリックします。



- 7** インストールが終わると、「インストールは完了しました。コンピューターを再起動する必要があります。」という英語のメッセージが表示されますので、[Restart](再起動)をクリックしてください。自動的にコンピューターが再起動します。また、以下の場所にそれぞれのファイルがインストールされているの確認することができます。

- ・ [システムフォルダ] → [コントロールパネル] → [YAMAHA USB MIDI Patch]
- ・ [システムフォルダ] → [機能拡張] → [USB YAMAHA MIDI Driver]
- ・ [システムフォルダ] → [OMS Folder] → [YAMAHA USB MIDI OMS Driver]

■ File Utilityのインストール

MIDI機器とコンピューターを接続して、ファイル管理などを行なうためのソフトウェアです。以下の手順で、それぞれのソフトウェアをインストールすることができます。

- 1** CD-ROM内の「FileUtil_」フォルダーをダブルクリックします。「File Utilityのインストール」が表示されます。
- 2** 最初に「File Utilityのインストール」をダブルクリックします。File Utilityのインストールダイアログが表示されます。画面の指示に従ってインストールを実行します。
- 3** インストール終了後、コンピューターを再起動します。

操作についてはオンラインヘルプ/PDFマニュアルをご参照ください。

OMSのセットアップについて

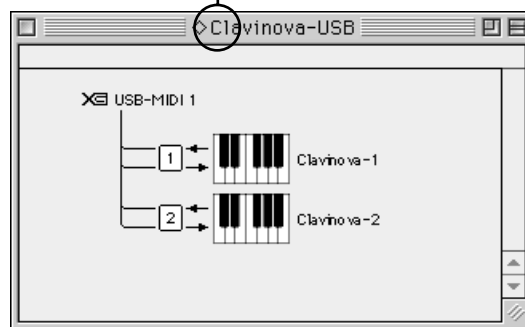
CD-ROMの中には、MIDI機器専用のOMSスタジオセットアップファイルが同梱されています。OMSのセットアップにはこのスタジオセットアップファイルを使用します。

メモ

- ・ 事前に、OMSとUSB-MIDIドライバーをインストールする必要があります(5ページ)。

- 1** USBケーブルを使用して、コンピューターのUSB端子と、MIDI機器のUSB端子を接続します。MIDI機器の電源を入れ、電源LEDが点灯していることを確認します。
- 2** コンピューターを起動します。
- 3** CD-ROMドライブに付属のCD-ROMを挿入します。デスクトップにCD-ROMのアイコンが表示されます。
- 4** CD-ROMのアイコンをダブルクリックして開き、「OMS_」フォルダー → 「OMS Setup for YAMAHA」フォルダーの中にある、「****-USB」スタジオセットアップファイルをハードディスクにコピーします。
- 5** 「****-USB」スタジオセットアップファイルをダブルクリックして、OMS Setupを起動します。
- 6** OMS Setupが起動すると、先ほど立ち上げたスタジオセットアップファイルが開きます。タイトルバーに表示されたファイル名の先頭に「◇」が表示されていることを確認してください。

ファイル名の先頭に「◇」が表示されます。



メモ

- ・ タイトルやポート名はモデルによって異なることがあります。
- ・ 「◇」が表示されない場合には、[ファイル]メニュー → 「セットアップを有効にする」を選択します。「◇」の表示を確認後、保存します。

これで、OMSのセットアップは完了です。

メモ

- ・ 上記のスタジオセットアップを行なった場合、MIDI機器のみが認識されます。MIDI機器以外の楽器をUSB接続する場合や、すでにOMSを使用して新たにMIDI機器をシステムに加える場合などは、独自のスタジオセットアップを作成する必要があります。詳しくは、付属の「OMS****_Manual.pdf」をご参照ください。

前記の操作を行っても、お使いのMacintoshやOSのバージョンによっては、添付のMIDI機器用スタジオセットアップファイルが動作しないことがあります。(セットアップが有効になっても、MIDIの送受信はできません。)この場合、以下の手順でセットアップファイルを作りなおしてください。

- 1** MIDI機器とMacintoshをUSBケーブルで接続し、MIDI機器の電源を入れておきます。
- 2** OMS Setupを起動し、[ファイル]メニューより「新規セットアップ」を選びます。
- 3** OMSドライバー検索ダイアログが表示されますので、「Modem」または「Printer」どちらもチェックはせずしておきます。
- 4** [検索]をクリックし、デバイスの検索を行ないます。デバイスの検索に成功すると、OMSドライバー設定ダイアログで「USB-MIDI 1」と表示されます。

・デバイスを正しく検索できた場合は、[OK]をクリックして次にすすみます。

・デバイスを正しく検索できなかった場合は、ケーブルの接続などを再確認し、手順1から作業をやり直してください。

- 5** 検索されたデバイスの下にポートが見えていることを確認します。(USB-MIDIという名称になります。)ポートのチェックボックスをチェックしたのち、[OK]をクリックします。
- 6** 設定ファイルを保存するダイアログが表示されますので、ファイル名を入力して[保存]をクリックします。これでOMSのセットアップは完了です。
- 7** [スタジオ]メニューの「テスト」を選び、ポートのアイコンをクリックします。MIDI機器の任意のチャンネルが発音すれば正しく動作しています。

OMSの使用方法についての詳細は、OMSに付属の「OMS * * * * _Manual.pdf」をご参照ください。

故障かな?と思ったら(Q&A)

ドライバーがインストールできない

- ・ **USBケーブルは正しく接続されていますか?**
USBケーブルの接続を確認してください(MIDI機器 取扱説明書参照)。
一度USBケーブルを抜いて、再度挿入してください。

[Windowsの場合]

お使いのコンピューター側でUSBが使用可能になっていますか?初めて楽器をコンピューターに接続した際、「新しいハードウェアの追加(検索)ウィザード」(2ページ、3ページ)が自動的に表示されないときは、コンピューター側でUSBを使用しない設定になっている場合があります。以下の方法で確認できます。

- 1** 「コントロールパネル」→「システム」→「デバイス マネージャ」(Windows 98/Me)、「コントロールパネル」(Windows XPの場合はクラシック表示)→「システム」→「ハードウェア」→「デバイス マネージャ」(Windows 2000/XP)で「デバイス マネージャ」を表示させます
- 2** 「デバイス マネージャ」の表示で、「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」や、その下にある「USBルートハブ」などに「!」や「×」のマークがついていないことを確認してください。「USBルートハブ」などに「!」や「×」のマークがついている場合は、USBが使用できない設定になっています。詳細については、お使いのコンピューターの取扱説明書をご参照ください。

[Windowsの場合]

不明なデバイスが登録されていませんか?
何らかの原因によりドライバーのインストールに失敗すると、MIDI機器が「不明なデバイス」として認識されてしまいます。以降インストールができなくなる場合がありますので、以下の手順で「不明なデバイス」を削除してください。

- 1** コントロールパネル」→「システム」→「デバイス マネージャ」(Windows 98/Me)、「コントロールパネル」(Windows XPの場合はクラシック表示)→「システム」→「ハードウェア」→「デバイス マネージャ」(Windows 2000/XP)で「デバイス マネージャ」を表示させます。
- 2** デバイス マネージャ」で「種類別に表示」の状態で、「その他のデバイス」がないか確認します。
- 3** 「その他のデバイス」がある場合、ダブルクリックして、その下に「不明なデバイス」があれば、選択して[削除]をクリックします。
- 4** USBケーブルをMIDI機器から抜いて、接続し直します。
- 5** 以下、2ページの手順3以降(Windows 98/Me)、3ページの手順4以降(Windows 2000)、4ページの手順4以降(Windows XP)に従って、ドライバーをインストールし直します。

USB経由でコンピューターよりMIDI機器を操作した場合、正常に動作しない、または音が鳴らない

- ・ ドライバーはインストールしましたか(Windows 2ページ、Macintosh 5ページ)?
- ・ USBケーブル、オーディオケーブルは正しく接続されていますか(MIDI機器 取扱説明書)?
- ・ 音源、再生装置、アプリケーションの音量設定は上がっていますか?
- ・ ご使用のシーケンスソフトで適切なポートを選択していますか?
- ・ ドライバーは最新のをインストールしましたか?
ヤマハホームページ (<http://www.yamaha.co.jp/>)から最新のドライバーをダウンロードできます。

演奏がもたつく

- ・ お使いのコンピューターは推奨環境を満たしていますか
- ・ 他のアプリケーションやデバイスドライバーは動作していませんか？

[Macintoshの場合]

- ・ 仮想メモリを「切」にしてください。
- ・ AppleTalkを「不使用」にしてください。

正常にサスペンド、レジュームができない

- ・ MIDIアプリケーションが起動している状態で、サスペンドに移行していませんか？
- ・ Windows 2000をお使いの場合、USBホストコントローラなどの環境によって、サスペンド/レジュームできない場合があります。(その場合でも、USBケーブルを接続し直すと、MIDI機器は正常に動作します。)

ドライバーの削除、再インストールがしたい

[Windows Me/98の場合]

- 1 MIDI機器が正しく認識されている状態で、「コントロールパネル」の中の「システム」をダブルクリックして開きます。
- 2 「デバイスマネージャー」のタブをクリックし、「YAMAHA USB MIDI Driver」を選択し、削除します。
- 3 MS-DOSプロンプトまたはエクスプローラを操作して、以下の3つのファイルを削除します。

MEME

- ・ ただし、エクスプローラを操作して削除する場合は、エクスプローラの[ツール(表示)]メニューから「フォルダオプション」を選択して、「すべてのファイル(とフォルダ)を表示する」に設定しておいてください。
 - ・ ¥WINDOWS¥INF¥OTHER¥YAMAHA* * * * .INF
 - ・ ¥WINDOWS¥SYSTEM¥Xgusb.dr
 - ・ ¥WINDOWS¥SYSTEM¥Ymidusb.sys

- 4 USBケーブルを抜きます。
- 5 コンピューターを再起動します。
- 6 2ページのドライバーのインストールにしたがって、再インストールします。

[Macintoshの場合]

- 1 以下の場所にインストールされているファイルをそれぞれ削除します。
 - ・ 「システムフォルダ」→「コントロールパネル」→「YAMAHA USB MIDI Patch」
 - ・ 「システムフォルダ」→「機能拡張」→「USB YAMAHA MIDI Driver」
 - ・ 「システムフォルダ」→「OMS Folder」→「YAMAHA USB MIDI OMS Driver」
- 2 コンピューターを再起動します。
- 3 ドライバーのインストール(5ページ)およびOMSのセットアップ(6ページ)をもう一度行ないます。

■ソフトウェアのご使用条件

弊社では本ソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについて、<ソフトウェア使用許諾契約>を設けさせていただいており、お客様が下記条項にご同意いただいた場合にのみご使用いただけます。ディスクの包装を解かれた場合は下記条項にご同意いただけたものとさせていただきますので、下記条項を充分お読みの上開封してください。ご同意いただけない場合は、未開封のまま速やかに(14日以内)にご返却ください(ただし、本ソフトウェアをソフトウェアパッケージの一部として、またはハードウェア商品の付属ソフトウェアとしてお求めいただいた場合、本ソフトのみの返却はお受けいたしません)。

ソフトウェア使用許諾契約

1. 著作権および使用許諾

弊社はお客様に対し、本ソフトウェアを構成するプログラム、データファイル及び今後お客様に一定の条件付きで配布され得るそれらのパブリックプログラム、データファイル(以下「許諾プログラム」といいます)を、お客様ご自身が一時に一台のコンピューターにおいてのみ使用する権利を許諾します。これらの許諾プログラムが記録されているディスクの所有権は、お客様にあります。許諾プログラム自体の権利及びその著作権は、弊社が有します。

2. 使用制限

許諾プログラムは著作権を持つ情報を含んでいますので、その保護のため、お客様が許諾プログラムを逆コンパイル、逆アセンブル、リバース・エンジニアリング、またはその他の方法により、人間が感得できる形にすることは許されません。許諾プログラムの全体または一部を複製、修正、変更、賃貸、リース、転売、頒布または許諾プログラムの内容に基づいて二次的著作物をつくることは許されません。許諾プログラムをネットワークを通して別のコンピューターに伝送することも許されません。

3. 終了

本使用条件はお客様が許諾プログラムをお受け取りになった日に発効します。本使用条件による使用許諾は、お客様が著作権法または本使用条件の条項に1つでも違反されたときは、弊社からの終了通知がなくても自動的に終了するものとします。その場合には、ただちに許諾プログラムとその複製をすべて廃棄しなければなりません。

4. 製品の保証

弊社は、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から14日間に限り、媒体に物理的な欠陥があった場合には、その原因が事故、乱用、誤用など弊社に帰さない事由による場合を除き、無償で同種の良品と交換させていただきます。

5. 責任の制限

弊社は、許諾プログラムの使用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害(データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失など)による損害を含む)については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生や第三者からの賠償請求の可能性があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

6. 第三者のソフトウェア

弊社は、本ソフトウェアとともに、第三者のプログラム、データファイルおよびそれに関するドキュメンテーション(以下「第三者ソフトウェア」といいます)を提供する場合があります。別の規定に従い取り扱われるべき旨の記載が、本ソフトウェア付随のマニュアルに記載されている場合には、本使用条件にかかわらず、その別の規定に従い取り扱われるものとし、弊社によるアフターサービスおよび保証などについては、以下の規定が適用されるものとします。

弊社は、第三者ソフトウェアに関しての操作方法、瑕疵その他に関してアフターサービスを提供するものではありません。

弊社は、第三者ソフトウェアの商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証を、明示であると黙示であるとを問わず、一切いたしません。第三者ソフトウェアの使用もしくは機能から生じるすべての危険は、お客様が負担しなければなりません。

弊社は、第三者ソフトウェアの使用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害(データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失など)による損害を含む)については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

7. 一般事項

本契約は、日本法の適用を受け、日本法に基づいて解釈されるものとします。

ヤマハ株式会社

M.D.G., Pro Audio & Digital Musical Instrument Division, Yamaha Corporation
© 2003 Yamaha Corporation

WA99150 ???AP???.?-0?C0 Printed in Indonesia